

たんぽぽだより

2026.4

始良市立加治木幼稚園
Tel:62-2502
Fax:62-2524

34人の子どもたちとともに～大地に根を張るたくましさを～

4月6日に25人の子どもたちとともに始業式を実施、4月10日に、9人の子どもたちを迎えて入学式を実施しました。34人の子どもたちと10人の先生、合計44人で令和8年度のスタートです。

わたしは、4月1日付で、園長に着任しました、川畑 敏彦(かわばた としひこ)と申します。よろしくお願ひいたします。本園に着任してまず、「きれいな幼稚園だな」と感じました。建物は歴史のあるものですが、あるべきものがある場所にきちんと整理整頓されていて整然としています。気の引き締まる思いでした。子どもたちも元気いっぱいであいさつもよくしてくれます。どうぞ、よろしくお願ひします。

令和8年度クラス担任

組名	園児数	担任	講師
きりん組(年長)	16	佐々木 裕美	桃菌 恵梨子、大山 尚美
うさぎ組(年中)	11	神野 捺未	美坂 理香、山下 友巳、
りす組(年少)	7	篠原 繭子	久家 夏美、黒岩 美保
合計	34	(P戸数30)	



令和8年度 教育目標と努力点

教育目標:園児一人一人の「自立」と「道徳性」の芽を育てる

努力点:保育者、保護者が一体となり、周囲の協力を得ながら、豊かな環境構成と、主体的な活動を重視し、子ども一人一人の個性や能力に応じて、根っこの力を確実に育む。



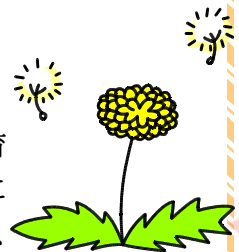
大切にしたいもの ～自立と貢献～

皆さんに質問です!「子育ての目標は何ですか?」それぞれに思いや考えがあり、自分の思う目標に向かって日々子育てに取り組まれていることと思います。

わたしが大切にしたいことは、子どもの「自立」です。教育、子育ての最終目標は、子どもを自立させること。親から自立した子どもに育てることだと考えます。

子どもの第一義的な責任を有するのは保護者です。これは、「子どものしつけ教育の最高責任者は保護者である。」ということです。では、どうすれば自立した子どもに育てられるのか。それは、子どもに自立に必要な力を身につけさせることです。親は、子どもの世話を焼きすぎず、子どもが自分の身の回りのことは自分でできるように育てることが、子育ての基本目標の一つです。朝、決められた時間に目を覚まし、顔を洗い、歯を磨き、朝ご飯を食べて幼稚園に行く。自分のことは自分でする習慣になっていけば、他の人がやってくれれば感謝の心が生まれます。

日常生活で、子どもに具体的な仕事を与え、自分でやらせてみる。失敗したらどうしてなのかを考えさせる。成功したら褒めると同時に感謝し、やればできるという成功体験を子ども自身が積み重ね、自信を与えることが大切です。その繰り返しで、子どもは成長していきます。精神的な自立につながって



いきます。これから、家庭、幼稚園、地域がそれぞれの役割を考えながら、三者が同じ目標に向かって子育てに取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



一年間よろしくお願ひします!



令和8年度 PTA役員の方々

会 長 : 竹下 麻夢
副 会 長 : 牧迫 えりか 森木 真輝子
書記・会計 : 川元 あす華
研修(雑類) : 北原 彩乃 油田 知子
監 事 : 倉津 智郷 新 しおり

※親子読書グループ

「ぐるんぱ」代表 山口 寛美

※おやじの会会長 山口 広二

【4月の行事紹介】「子ども読書の日」お話を実施しました!



大型絵本、劇も楽しかったね! みんなが応援してくれたので大きなカブがぬけて良かった!

「さんびきの子ぶた」子ぶたの兄弟、大丈夫? はらはら、ドキドキ!



4月20日(月)子ども読書の日、大型絵本、紙芝居、エプロンシアター、劇を楽しみました。日々の読み聞かせ、毎週金曜日の巡回図書の出借、月1回の親子読書グループ「ぐるんぱ」さんのお話会など、これからもお話をとおして豊かな言葉の世界をたくさん楽しみたいと思ひます。読書は心の栄養です。是非、子供たちに楽しい読書の世界を体験させてください。

一番頭が柔らかいときに、一番大切なものを...

子供の年を数えるときに「つ」がつくのは、「このつ」まで、昔から「つ」がつくうちに『しつけ』をしっかりとされています。3歳までは、周りの環境等を自分で判断することはできないので、親がどのような環境や言葉かけをしていくのが大切です。一番頭が柔らかい子供たちに美しい日本語を聞かせ、きれいな言葉を覚えさせることで、人間としての優しい感情を育てていきたいものです。